

授業科目

薬理学

担当教員名 高中 紘一郎	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			

授業の概要

下記項目を中心に講義する。

1. 薬とは何か。
2. 薬物と生体の相互作用。
3. 薬物の副作用。
4. 薬効評価とその問題点。
5. 生体情報伝達機構。
6. 末梢神経系、中枢神経系、腎、循環器系に作用する薬物。
7. 化学療法薬について。

授業の目的

薬物治療に関する基本的な知識及び各薬物の薬理作用・副作用などを理解する。

学習目標

1. 薬とは何かを説明できる。
2. 薬物と生体の相互作用を説明できる。
3. 薬物の副作用を説明できる。
4. 薬効評価とその問題点を説明できる。
5. 生体情報伝達機構を説明できる。
6. 末梢神経系、中枢神経系、腎、循環器系に作用する薬物を説明できる。
7. 化学療法薬について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	薬物とは何か、基本的な薬物の吸収、分布、代謝、排泄	講義	高中 紘一郎
2	薬物に関する生体の因子	講義	高中 紘一郎
3	薬物の作用の仕組み	講義	高中 紘一郎
4	薬物の相互作用、副作用	講義	高中 紘一郎
5	炎症、感染	講義	高中 紘一郎
6	腫瘍	講義	高中 紘一郎
7	ホルモン、シナプスと化学伝達物質の関係	講義	高中 紘一郎
8	神経に作用する薬物	講義	高中 紘一郎
9	精神の疾患	講義	高中 紘一郎
10	抗不整脈薬、抗高血圧薬、抗狭心症薬	講義	高中 紘一郎
11	腎、利尿薬	講義	高中 紘一郎
12	消化器の疾患	講義	高中 紘一郎
13	呼吸器の疾患	講義	高中 紘一郎
14	感覚器の疾患	講義	高中 紘一郎
15	まとめ	講義	高中 紘一郎

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学第2版	中嶋敏勝	医歯薬出版	2012年	2,800円+税	
参考書						

評価方法

定期試験（100％）にて評価する。

履修上の留意点**オフィスアワー・連絡先**

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。